

人口減少のなかで活力あるまちづくりを考える 第11回 地方議会議員研修会



2014年7月24日(木)～25日(金)

会場 京都テルサ (京都府民総合交流プラザ)

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地

TEL: 075-692-3400

1日目

全体会 13時～17時

記念講演 人口減少時代のまちづくり



中山 徹

奈良女子大学教授

少子化対策は重要だが、移民政策をとらない限り、万全の少子化対策を実施したとしても人口は減る。第一にこの点を理解することが重要だ。その上で、人口減少に適切に対応しなければ、まちは確実に衰退する。これが二つ目に重要なことである。三点目に重要なことは、その一方で人口減少に適切に対応していけば、まちの住み良さは向上するということである。世界ではそれを実現するためにさまざまな試みが始まっている。そして最後に重要なことは、自治体の努力で対応可能なことと、国の制度を変えなければ実現困難なことがあることを理解することだ。これらについてお話しし、人口減少時代のまちづくりについて一緒に考えたい。

特別講演 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり



～コンパクトシティ戦略による
富山型都市経営の構築～

高森 長仁

富山市 都市整備部次長

富山市では、人口減少や超高齢化など都市の諸課題に対応し、持続可能な都市であり続けるため、コンパクトなまちづくりを推進している。その実現にあたっては「公共交通の活性化」「公共交通沿線地区への居住の推進」「中心市街地の活性化」を柱として各種事業を展開しており、直接的な効果のみならず、社会、経済、環境面にわたり徐々にその効果が現れている。コンパクトなまちづくりを基本に、雇用、産業、教育、福祉、文化など総合的・包括的に施策を展開することで、まちの質を高め、将来市民に責任がもてるよう、社会・経済・環境などあらゆる面で持続可能な、選ばれるまちを目指す。

主催: NPO 法人 建設政策研究所 関西支所

TEL: 06-6941-6058 FAX: 06-6941-6115

E-mail: nre28145@nifty.com



- JR 京都駅 (八条口西口) より南へ徒歩約 15 分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約 5 分
- 地下鉄九条駅 4 番出口より西へ約 5 分

2日目

選科 9時20分～15時

講義A

「まちが生き残るために」
～コンパクトシティと魅力の創造～

講師 今井 晴彦 都市計画コンサルタント/
(株)サンプランナーズ代表取締役

講義B

まちを守り育む「公共事業」と
地方財政の課題

講師 保母 武彦 島根大学 名誉教授

講義C

防災まちづくり、公共施設の
維持管理・再配置の課題

講師 高木 直良 NPO 法人建設政策研究所 理事

2日目 9時20分～15時 講義A～Cは同時間・並行開催です。受講される講義を一つお選び下さい。
各講義とも 第1講 9:20～10:40 第2講 11:00～12:20 第3講 13:20～14:50 (各講の時間割には若干の質疑時間を含む)

講義A 「まちが生き残るために」～コンパクトシティと魅力の創造～

第1講 人口減少と高齢化はなにをもたらすか

第2講 都市のコンパクト化をどう進めるか

第3講 都市の魅力をどのように高めるか

人口減少に伴い、空き家空き地が増加し、また、車に頼ることの難しい高齢者が安心して歩いて暮らせる都市環境の必要性も増している。都市のコンパクト化を進めることは不可欠な状況である。一方、それだけでなく地方経済が縮小、あるいは雇用の減少によって、都市の活力が一層失われることへの対応も不可欠で、都市が人や投資を引付けられる魅力を高めることも重要になっている。特にコンパクト化のためにも中心市街地の都市環境の向上や魅力の創出が必要である。これらについて考える。



都市計画コンサルタント/
（株）サンプランナーズ代表取締役

今井 晴彦

講義B まちを守り育む「公共事業」と地方財政の課題

第1講 老朽化と公共施設等の計画的な管理

第2講 まちづくり・公共施設整備と財政

第3講 公共事業審議のポイント

今年4月、総務省から自治体に対して「公共施設等総合管理計画」の策定が要請された。自治体では、老朽化する公共施設対策とともに将来のまちづくりを見据えた検討が開始される。公共施設を新設するだけの時代は終わっている。厳しい地方財政の下で、住民の声を反映しつつ、財源の捻出や民間の資金・ノウハウの適正な利用を審議する議会の役割が増えている。住民との情報及び現状認識の共有などを含めて、議員活動のポイントを学ぶ。



島根大学名誉教授

保母 武彦

講義C 防災まちづくり、公共施設の維持管理・再配置の課題

第1講 「国土強靱化計画」と防災まちづくり

第2講 社会資本老朽化対策と「公共施設再配置」をどう考えるか

第3講 地域維持、地域建設業育成につながる公共発注政策とは

人口減少、高齢化の進行とともに社会資本・公共施設の老朽化への対応や防災・減災のまちづくりが日本の大きな課題になっている。政府は「国土強靱化」を掲げ、大型公共事業とその予算を急拡大したが、一方で地方自治体は、将来の人口減少と財政負担から公共施設の廃止・統合を打ち出す流れが強まっている。また、地域の建設業を取り巻く環境は厳しく、若者離れ、技能労働者不足の問題が深刻化しており、外国人技能実習生の動員なども急浮上している。場当たり的で、どこかおかしな現状を考え、真に必要な事業の方向を探る。



NPO 法人
建設政策研究所理事

高木 直良

参加の申し込み		右の申込書に必要事項を記入の上、ファックス又はメールでお申し込みください。参加費は、下記の送金先までお願い致します。
定員	150名 (2日間通し参加のみ) ※ご送金いただいた順にお席を確保し、領収書・参加案内をお送り致します。	
参加費	25,000円 ※キャンセル料：7月17日以降、10,000円を申し受けます	
備考	お泊まりはご自身でお手配ください。2日目の昼食(弁当)を希望される方は、参加申込受付後に別途受付いたします。	
申込先	NPO法人 建設政策研究所 関西支所 議員研修会係 〒540-0035 大阪市中央区釣鐘町1丁目1-1 AKレジデンス501号室 FAX: 06-6941-6115 TEL: 06-6941-6058 E-mail: nre28145@nifty.com	
送金先	①	銀行名：ゆうちょ銀行 郵便振替 記号・番号：00950-0-117703 加入者名：建設政策研究所 関西支所
	②	銀行名：三井住友銀行 天満橋支店 銀行コード：0009 店番：131 普通：1556745 口座名義：建設政策研究所 関西支所

申込書		※必ず2日目の希望講義を○で囲んでください。	
2日目 希望講義	A	「まちが生き残るために」～コンパクトシティと魅力の創造～	
	B	まちを守り育む「公共事業」と地方財政の課題	
	C	防災まちづくり、公共施設の維持管理・再配置の課題	
氏名		男・女	
領収書宛名			
領収書送付先		〒	
電話		FAX	
所属等		都・道 府・県	市・区 町・村
現在 () 期目			